

第3回委員会での意見と対応（1/2）

意見	対応
◆「東松山観光の目標」について	
実現したい将来像が端的に示されているものがふさわしい。	
「観光まちづくり」の文言について、来訪を促す目標がある反面、地域を作っていくという面も見えるため、計画が目指すものは何かが言葉に表れていると感じた。	
市民として、市外から来てもらえることは嬉しいが、設定する目標が市民を置き去りにするものでは意味がない。	・ 3つの目標案のうち、来訪者と市民の両方の視点が入っている「何度訪れても楽しいまち東松山～市民一人ひとりが楽しんで参画する観光まちづくり～」を第一候補として検討。
計画の目標という観点から、対外的な内容だけでなく市民向けの内容も入れるべきだと思われるため、両方の視点を取り入れた目標が良いのではないか。	
目標を市民向けのものと、来訪者向けのものとで区分けするはどうか。	
外から人が来るためのものが、市民にとって必ずしも良い物であるとは限らない。観光に特化したまちづくりではなく、市民と観光客の両方が満足できるまちづくりをしなければならない。	
「参画」という言葉について、市民がどのように関わるかが具体的にイメージしにくいと感じる。	・ 「参画」を「参加」に変更。
「観光まちづくり」や「参画」という言葉が意味するものを明確にした上で、市民が腑に落ちる内容とする必要がある。	・ 「観光まちづくり」や「参加」の意味を解説文章に加筆。
市民が楽しむのも一つだが、経済的に見れば市外から来てもらい、消費行動をしてもらうことが重要。	・ 本計画の目指す数値目標の一つとして「日帰り来訪者の平均観光消費額」を設定。
観光の目標として、市外から来てもらい、お金を落としてもらうことが目指すべきものと考える。	
第一次、第二次を踏まえて第三次計画では何を目指すのかを明確にする必要がある。	・ 2つのリーディングプロジェクトを設定し、その中で第三次計画が目指す方向性を端的に示せるようにする。
限られた資源の中で何をどのように活用していくのかを明確にした上で、第三次の計画が目指す具体的な目標があっても良いのではないか。	
◆「評価指標」について	
「①観光入込客数の増加」については再考していただきたい。入込客数の増加を目指すのではなく、消費や滞在時間、滞在場所や来訪者の満足度を伸ばすことなど、今回の目標に即した内容を指標にしても良いのではないか。	・ 観光入込客数については、イベント等も含めた統計上の全体の入込数ではなく、市が主体的に関わることができる市管理の観光施設（東松山ぼたん園、東松山市農林公園、化石と自然の体験館、くらかけ清流の郷）の年間来訪者数として評価指標を設定。 ・ 評価指標として、「観光消費額」「観光スポットへの立ち寄り箇所数」「東松山市での観光・レジャーに関する満足度」を追加。
ひがしまつやまプライドについては、数を増やすなどの目標を立てるべきか。また、プライド事業者同士の横のつながりがないと感じられる中で、イベント出店などを事業者で協力して行うなど、プライドの認知度向上につなげる何かが計画の中にあると良いと思う。	・ 「ひがしまつやまプライド」については、数をただ増やすことが目的ではないため、「ひがしまつやまプライド」出店イベント数を評価指標として設定。 ・ プライド事業者同士の横のつながりづくりについては、「取組30）観光関連事業者や関係者間の交流・意見交換の場の設定」で対応することを想定。
市民が東松山市の観光資源について認知し、それらについてプライドをもって紹介できれば市民参画にもつながると感じる中で、目標や指標に落としめるものがあれば良いと感じた。	・ 市外の人に自慢・アピールしたいと思う地域資源の数（一人当たり平均）を評価指標として設定。

第3回委員会での意見と対応（2/2）

意見	対応
◆「施策体系」について	
基本施策2の中の「磨き上げ」に内容が含まれるかと思われるが、新たな魅力の創出という観点で文言を追加しても良いのではないか。	・「活用していきます」を「新たな魅力の創出していきます」に修正。
基本施策3に「～埼玉県こども動物自然公園をフックとした周遊促進等」とあるが、動物園に限定してよいものなのか。	・（基本施策3以外も含め）副題を削除。
基本施策3の周遊を促す施策について、地元住民に対する交通の利便性の向上を含め、周遊しやすい仕組みの構築について観光の立場から新たなモビリティの提案を検討することも必要である。	・「取組17）駅と観光資源及び観光資源間をつなぐ二次交通対策の検討」を追加し、オンデマンド交通やシェアカー、それらをつなぐMaaSの導入等を位置づけ。
基本施策5について「市民も」より「市民が」のほうがより主体性を感じられるため良いのではないか。	・「市民も」を「市民が」に修正。
アンケート結果から東松山市への来訪手段は車が多いとされている中で、車で来ることを踏まえた施策が必要かと思われる。	・必要な案内標識の追加も含めた「取組18）観光資源への誘導強化」を追加。